

10th Anniversary >>

一般社団法人 白山市観光連盟  
創立10周年記念誌



HAKUSAN

白山市観光連盟

白山市観光連盟公式ロゴマーク募集  
最優秀賞 受賞作品

制作者：林 恵利（東京都）

コンセプト：北陸の厳しい自然に育まれた歴史、文化、まち、そして人。白山が誇る澄んだ水、豊かさの象徴である水のしずくを白山の「白」に見立て、白山市で出会える自然のモチーフを詰め込みました。シンボルマークは小さい表示でも「白山」の文字の形が印象づくようにまとめ、ロゴタイプの「A」の中にもしずくのモチーフをしるばせています。

# 白山市観光連盟について



白山市は、日本三名山の一つである霊峰白山をはじめ、県下最大の流域を誇る手取川、白砂青松が続く日本海など豊富な自然と美しい景観を有し、そして何よりも、古き良き伝統文化が脈々と受け継がれ、それらが市民の生活の中に溶け込んでいる、魅力に富んだ市です。

そのような本市の特徴的な地質・地形とそれに関わる人々の歴史と文化が評価された「白山手取川ジオパーク」が、世界ジオパークに向けて、ユネスコの評議会の認定に向けた勧告決定をいただきました。この本市が持つ観光資源を活用し、新しい価値観を付加した観光商品を生み出すとともに、様々な観光資源の魅力を総合的に発信することを戦略的に進めていくことが重要です。

白山市観光連盟は、「観光地域づくり法人」(DMO)として、観光事業者はもとより、農業や地場産業など経済団体、市民活動団体のご協力や周辺地域とも連携し、多彩な地域資源を活かした事業化を図り、白山市全体が生き生きとした「観光・交流空間」となるよう行政と協働し、オール白山としての機能を担うものです。

今後、コロナ禍からの観光の復活と新しい時代の観光に向けて、観光による地域づくりにつなげられる取り組みをより一層推進してまいります。

## 白山市観光連盟（観光地域づくり法人）の戦略イメージ

まちの魅力を磨き高め、新たな観光・交流の振興



観光みらいプロジェクト重点ビジョン  
(中期推進計画)

- 白山市が「誰もが安心して暮らし続けられる健康な地域」であり続けるために、「誰もが安心して訪れることができ、楽しむことができる地域」を目指す。
- 「旅と消費者の多様性」にかんがみ、「個のニーズ」に応えられる地域づくりに取り組む。
- 再来訪意向（リピート志向）と紹介意向（シェア志向）の向上を目指す。



協働による施策の推進



### 白山市が進める観光施策の方向性

- プラットフォーム機能の充実
- 人材の育成と確保
- 観光拠点の充実・ブランド力の向上
- 白山の魅力・鉄道のまちの発信
- 着地型旅行商品の開発
- 広域圏での観光商品の開発
- 広域的な観光の推進
- インバウンド事業の推進



# ごあいさつ



白山市長  
白山市観光連盟会長

山 田 憲 昭

一般社団法人白山市観光連盟が創立10周年を迎えられ、心よりお慶びを申し上げます。

また、平素より本市の観光施策に多大なるご理解とご協力を賜り、観光地域づくり法人(DMO)として「地域と観光客を結ぶワンストップサービス機能」の役割を担い、地域における観光振興のかじ取り役としてご尽力いただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

さて本市では、令和5年5月、白山手取川

ジオパークのユネスコ世界ジオパーク認定が正式決定する見込みとなり、続いて令和6年春には、北陸新幹線県内全線開業に合わせた白山市立鉄道ビジターセンターの竣工に向け整備を進めております。

今後ともさらなる誘客のため「オール白山」の体制で取り組む所存でありますので、皆様方におかれましては、引き続き各所と連携しながら、来訪者に楽しんでいただけるコンテンツの開発や、全国そして世界へ本市の魅力を発信いただきますことを期待しております。

結びに、白山市観光連盟の末永いご発展と、会員の皆様方のご活躍を心より祈念いたします。



白山市観光連盟理事長

村 山 圓 八

一般社団法人白山市観光連盟は会員の皆様や、行政及び地域関係者の皆様のご支援に支えられ、令和5年1月に創立10周年の節目を迎えました。

この度、10年の歩みや取り組みを記念誌として上梓することができましたことに厚くお礼を申し上げますとともに、次の10年への礎とさせていただきたいと思っております。

当連盟は、平成31年3月に「地域DMO」

の認定を受けてより、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の地点に立った観光地域づくりの推進役として、事業戦略の策定並びに調整を行ってまいりました。

引き続き、昨今の目まぐるしく変化する市場への対応や、回復が期待されるインバウンド需要への備えに取り組みながら、白山市における観光産業の振興を図るため、本市が保有するすばらしい観光資源の魅力を世界へ発信してまいります。

今後とも皆様方のご理解と、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

# 白山市観光連盟10年のあゆみ

平成24年  
(2012年)

- 1月 白山市「感得塾」観光戦略会議で白山市観光ビジョンの策定
- 9月 一般社団法人白山市観光連盟設立準備委員会設置
- 12月 今後5年間の観光施策の基本構想となる白山市観光ビジョンが策定

平成25年  
(2013年)

- 1月 一般社団法人白山市観光連盟設立時社員会を開催、一般社団法人白山市観光連盟の設立を決議
- 1月 一般社団法人白山市観光連盟を設立
- 2月 一般社団法人白山市観光連盟発足記念フォーラム開催  
井門隆夫記念講演会・観光シンポジウム



▲ 観光連盟発足記念講演会

平成31年  
令和元年  
(2019年)

- 3月 第2回白山検定実施
- 3月 観光庁観光地域づくり法人(DMO)に登録
- 7月 観光庁多言語解説整備事業(パンフレット、看板等の解説文の多言語化事業)を実施
- 8月 観光庁欧米等のインバウンド向けの地域資源を生かしたコンテンツ造成事業(観光資源調査、ワークショップ開催、モニターツアー)の実施
- 11月 市議会産業建設常任委員会との意見交換会開催

平成30年  
(2018年)

- 3月 第1回白山検定実施・検定参考書作成
- 10月 白山開山1300年事業「いいとこ白山フェスタ」開催



▲ 白山開山1300年記念 下山仏ツアー

令和2年  
(2020年)

- 1月 東京JPタワーで開催のいいとこ白山「自然と文化と発酵街道」へ出展
- 3月 発酵食品ブランド化事業・海から山まで白山発酵街道ホームページ作成
- 6月 令和2年度いいとこ白山宿泊応援事業(白山市内の宿泊者にキャッシュバック)の開始

令和3年  
(2021年)

- 1月 ホームページ「うらら白山人」リニューアル
- 3月 第4回白山検定実施(入門コースの創設)
- 3月 観光PR動画「みそぎ体験」、「白山を知る獅子16のキーワード」をSNSで動画配信
- 6月 令和3年度いいとこ白山宿泊応援事業(白山市内の宿泊者にキャッシュバック)の開始

- 7月 観光庁補助事業「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」を実施。スタディーツーリズムの造成、事前学習動画、パンフレット作製、ガイドの育成等



▲ 観光PR動画 みそぎ体験



## 平成26年 (2014年)

- 4月 白山市「感得の旅」プロモーションビデオSNS動画配信
- 8月 「恋のしらやまさん」商品造成・完成披露会
- 11月 「北陸鉄道石川線沿線地域連携フォーラム」の開催
- 11月 一般社団法人白山市観光連盟事務局の白山市役所鶴来支所への移転



◀ 北陸鉄道石川線沿線地域連携フォーラム

## 平成27年 (2015年)

- 3月 「全国発酵食品サミット in 白山」開催
- 5月 新幹線開業イベント うらら白山人「春祭」開催



▲ 全国発酵食品サミット in 白山



▲ 白山市の発酵食品

## 平成29年 (2017年)

- 3月 白山発酵食品ブランド化事業開始
- 3月 白山開山1300年プロモーションビデオSNS動画配信
- 4月 第3種旅行業登録
- 7月 白山開山1300年記念事業「白山お水かえし・タスキでつながる白山登山」開催
- 10月 白山開山1300年記念事業「白山のめぐみフェア・白山シンポジウム」開催



◀ 白山開山1300年プロモーションビデオ

## 平成28年 (2016年)

- 3月 「終着駅サミットin鶴来」開催
- 7月 白山開山1300年記念事業「灯りでつなぐ1300年」ポロシャツ、ピンバッジ、車両用マグネットシート作成、成功祈願登山など
- 11月 うらら白山人「秋祭」どんじゃら市・白山開山1300年記念プレイベント事業開催



▲ うらら白山人 春祭



▲ どんじゃら市 成功祈願

## 令和4年 (2022年)

- 3月 第5回白山検定実施
- 8月 白山市観光連盟「観光みらいプロジェクト中期推進計画」策定
- 9月 白山市観光連盟選定「白山おみやげグランプリ」決定金賞 白山丸いもカレー



▲ 白山検定 参考書



▲ 白山お土産グランプリ応募品

## 令和5年 (2023年)

- 2月 白山市観光連盟公式ロゴマーク決定
- 2月 白山市観光連盟10周年記念式典開催 白山市観光連盟10周年記念誌の作成



▲ 公式ロゴマーク選定会

# 白山市観光連盟の主な事業

## 1 地域の魅力を効果的に情報発信するための取り組み

### ①首都圏誘客キャンペーン事業

白山市ゆかりの地「文京区白山」等の首都圏において観光ブースや食を通じた白山市のプロモーションを展開することで、知名度向上やイメージアップを図り、白山市への誘客に繋げている。

### ②広域連携白山市観光プロモーション事業

石川県観光連盟をはじめ加賀白山地域や環白山地域などで組織する広域連携観光機関において、関西・中京・首都圏及び東北等へ白山市の着地型商品をPRし、白山市の知名度アップと誘客促進を図っている。

### ③うらら白山人「秋祭」開催事業

白山比咩神社で恒例となった秋祭「どんじゃら市」を開催し、発酵食品を中心とした白山市の山から海までの特産品と白山比咩神社観光をPR。

### ④白山検定事業

第6回まで「白山検定」を実施し、地域への認識を高め、愛着を深めることにより、市民のおもてなし力の向上を図り、観光誘客につなげている。検定に際し、白山検定参考書と白山検定問題集を作成した。

## 2 観光客受入環境に関する取り組み

### ①金沢市観光連携事業

金沢市との観光連携事業として、「金沢から白山へ」という動線をさらに強く打ち出し、「金沢ローカル線の旅～鶴来まち歩きクーポン」や「白山詣双六QRスタンプラリー」など企画・造成・販売を実施している。

### ②着地型旅行商品開発・販売事業

プラットフォーム機能の充実を図り、新たな着地型旅行商品を開発し、積極的な販売を行う。ガイド付旅行商品「しらやまさんでお神楽をあげよう」、「みそぎ体験」等、着地型旅行商品を販売・催行し、白山市へ観光客を呼び込むとともにPRを行っている。また近隣自治体と連携した観光プラン、周遊

ルートの作成など、広域観光の旅行商品の開発を行っている。

### ③観光ガイド人材育成事業

観光ガイド人材の育成・拡充や観光事業を担う人材のレベルアップに努め、受け地での魅力アップを図っている。訪れる観光客により満足して頂くため、ガイド環境の整備とガイド研修を行っている。

### ④レンタサイクル事業

観光連盟事務所において、観光客へ電動アシスト自転車やマウンテンバイク等自転車の貸し出しを行っており、利用者が年々増加している。

### ⑤一里野温泉イルミネーション事業

一里野温泉スキー場に1万3000個のLEDイルミネーションを設置し、閑散期の夏場の着地型旅行やイベントを活用した観光商品を販売している。

## 3 白山市のブランド力向上の取り組み

### ①白山手取川ジオパークとの連携

白山手取川ジオパークをツールとして、自然資源や地域遺産の保護・保全などの取り組みを支援するとともに、ツーリズムの基盤づくり、ふるさと学習を通して地域の魅力アップに努めている。

### ②発酵食品ブランド化事業

「発酵のまち白山市」を全国に発信し、白山市の発酵食品をさらにブランド化するため、白山発酵食品ブランド化認定事業を推進している。白山市の発酵食品に統一のストーリーやイメージを持たせ、ブランド化を図り、ホームページにより積極的な情報発信を行い、販路の拡大を目指している。

### ③滞在コンテンツ開発事業

地域の滞在型コンテンツであるご当地グルメや名物となるお土産、伝統工芸品等の商品等を販売促進するため、特産品や地元食品などを販売する事業者等と連携し、観光拠点内での販売、観光PR会場での販売、宣伝を行うとともに、地元産品のブランド力の向上を図るため、新商品開発の「おみやげグランプリ」を開催した。



## 観光ガイドとして共に歩んだ10年間



加賀白山ようござった  
会長

磯部雄三

白山市の観光に光を当て、それを各方面に放ち輝かせることで地域の発展に寄与してきた10年間であります。

観光ガイド活動を続けてきた中で個別の団体だけでは解決できない課題が多々あり、解決するための組織の設立を求め、白山市観光連盟が設立された事は、時宜を得たものであり、以来ガイド活動の中で得られる

情報や課題や改善点等向かうべき方向について共有しながら歩んできました。課題の解決や得難い情報の提供を受けて幅が広がり闊達な活動が出来るようになりました。

課題も見えてきました。情報発信力の強化や訴求力、魅力ある観光素材の発掘と観光に携わる人材の育成です。身近に接して感じる事は、連盟のスペースの拡張と日々業務に追われるスタッフの増強や環境面での改善です。

次のステップに向け変わりなく手を携え明るい未来へ向かっていきます。

## 創立10周年を祝して



株式会社 銭福屋  
代表取締役

西竹康生

白山市観光連盟創立10周年  
を迎えられたこと心からお祝い

申し上げます。

発足当時は物産部会として活動をさせていただき、2015年白山市美川で開催された「全国発酵食品サミット」の誘致・開催や、白山市の発酵食の魅力発信を行うために2018年から取り組んだ「海から山まで白山発酵街道」ブランド認定事業での基準の

研究・調査・策定、商品の募集、ブランド認定を行いました。又、イベントや祭り等での物産展を行ってきました。物産部会から新ご当地銘品開発部会へ名称変更を行い、2022年に白山お土産グランプリを開催。市内企業の方々より多くの新商品の出品をしていただき事業を行う事ができました。

白山市は魅力のある資源が数多くあると思います。白山市観光連盟がこの先10年、20年その先へと、白山市の魅力ある伝統的なものを継承しつつ新しい発想のものを全国、世界へと発信していける手助けになり、地元の活性化になることを願っています。

結びに、白山市観光連盟のますますのご発展とご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## 白山の恩恵をいただき、観光に生かすために。



瀬川屋プランニング合同会社  
代表社員

瀬川亮太

創立10周年、誠にありがとうございます。白山市で観光に携わ

る者としても、たいへんうれしく存じます。日々、歴史と実績を積み上げていること、改めて実感いたしました。

さて、私は2021年より観光みらいプロジェクト部会の部会長を務めさせていただき、至らない点やご迷惑をおかけしてしまったところも多々あるかと思いますが、事務局の方々や会員の皆様にご指導いただきながら何とか今日まで活動させていただいております。

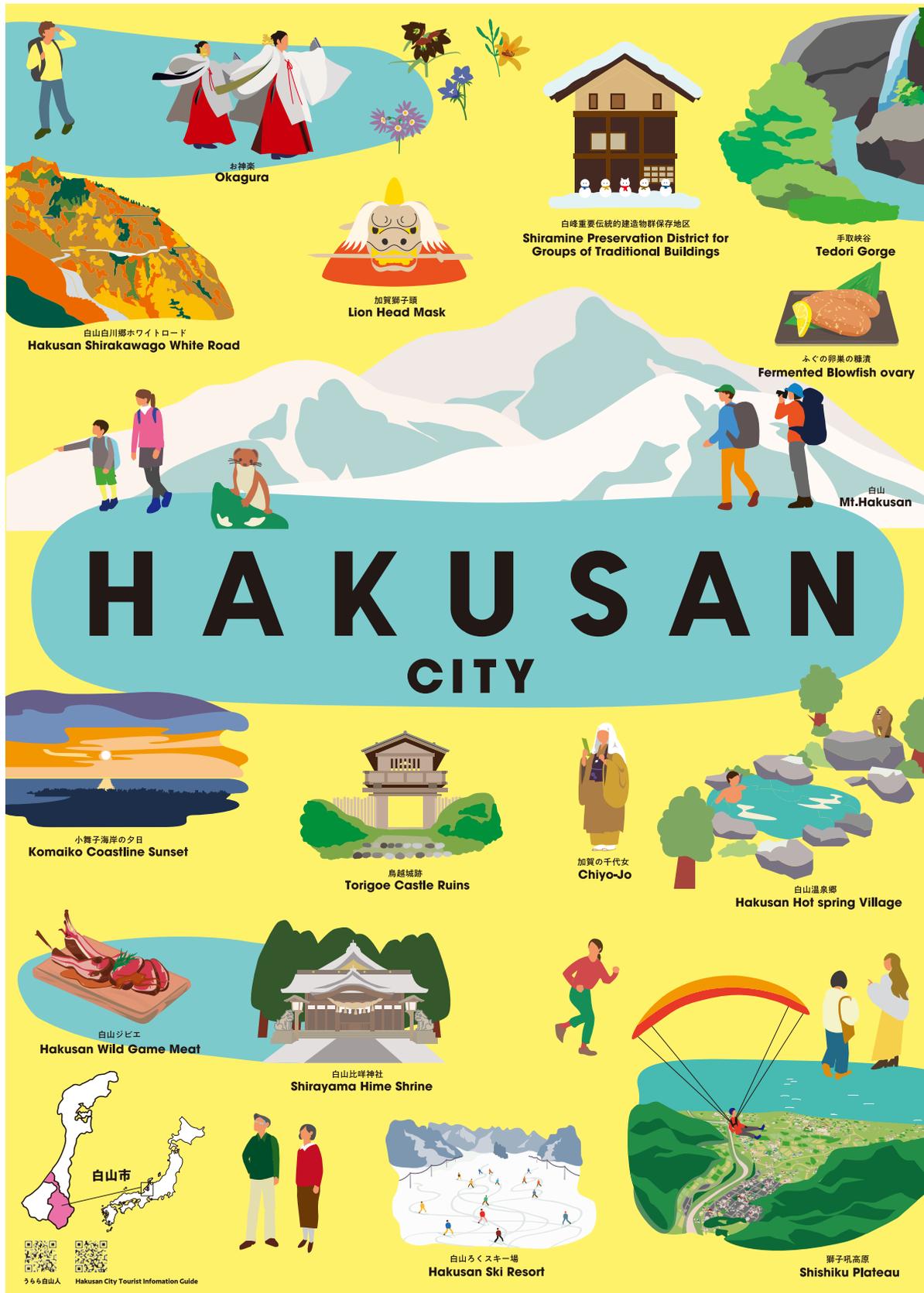
部会では、白山市の観光における中期的な計画を立てることを目標に、部会員一丸となって議論を重ね、中期計画書の完成に至ることができました。しかしながら、海から山まで大地の恵み豊かな白山手取川ジオパークを有する白山市の新たな計画書作成の大役をお

引き受けするのは、大変身の引き締まる思いでありました。

日本三名山のひとつに数えられる霊峰白山。古くから信仰の対象とされ、夏でも残雪を纏う真っ白な雄姿は見る人の心を癒してくれます。その白山の麓に広がる白山市は、白山の恵みを存分に享受しています。そして、四季折々の「豊かな自然」「おいしい食べ物」「温泉」「歴史」等、豊かな地域資源を有しており、その白山市の活動をいかに活発化していくのか。まさしく、白山市に住まいし者たちが知恵を絞り、会員の結束力を持って一つになり取り組む結果が、観光における成功の第一歩だと思えます。

これからも、かけがえのない人たちとかけがえのない地域の為に、白山の自然の恩恵を頂きながら一生懸命努力をし、この地域の明かりを消すことなく守り続けていこうと思っております。

結びに、白山市観光連盟のますますの充実・発展と会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



一般社団法人 白山市観光連盟  
HAKUSAN CITY Tourism League

〒920-2192

石川県白山市鶴来本町四丁目又85番地（白山市役所鶴来支所内）

TEL 076-259-5893 FAX 076-259-6893

営業時間 8:30~17:15 定休日 年末年始

